

高州太鼓が縁 秋祭りにぎわいに一役

輪島市深見町鷺嶽の櫛原北代比古神社秋祭りは17日行われた。地元の輪島高州太鼓が大学のワークショップに参加したことが初めてキリコの担ぎ手に加わり、高さ約5・5メートルのキリコを担いだ学生は小雨につき、「ヤッセー」と威勢の良い掛け声を響かせた。



キリコ担ぎ 金大生参戦

輪島・櫛原北代比古神社

伝統行事の「ぎわいづくりに」役買つ金大地域連携推進センターの「能登の祭り支援プロジェクト」の一環。

7月に金大で開かれたワークショップ「祭りのできごと」で輪島高州太鼓のメンバーがキリコを持つ学生が祭りを体験できたお礼も込め、センターが参加者を募った。

学生は午後7時すぎに、地元の壮年男性らでつくる「永友会」の会員と共にキリコを担いで鷺嶽公民館を出発。小雨の中、祭りばやしに掛け声を合わせ、日本海沿いに民家が点在する町内に祭りの風情を漂わせ

キリコ祭りに初めて参加した経済学類2年の三澤雅弘さん(21)は「キリコは想像以上に迫力があった。担ぐと肩と腰に響く」と顔を赤らせた。輪島高州太鼓のメンバーもばやしを披露し、祭りに花を添えた。



永友会員とキリコを担ぎ、町内を練り歩く金大生 輪島市深見町

祭りは20数年前まで各で鷺嶽神社と呼ばれる櫛原地区から7基のキリコが、今嶽勝彦宮司(66)から、五では大小1基ずつ。学生や神社の歴史について説明を受け、伝統行事に理み立てに精を出し、地元

解を深めた。

能登町小木の御船神社の祭礼「小木袖キリコ祭」は17日、同地区で2日間の日程で始まり、武者絵が画面に施された袖キリコ9基が笛や太鼓の音色に合わせて小木港や商店街などを縦横に練り歩いた。

袖キリコの基港町練る

小木・御船神社の祭礼

明け方まで勇壮に

能登町小木の御船神社

同日昼すぎに各町内を出発したキリコは、路地を練り歩きながら、続々同神社のある高台下の本小本港を目指した。同港近くの町道で宮司のおほらいを受けた後、キリコは順に各町内へ引き返し、勇壮な掛け声が明け方近くまで港町に響き渡った。



青年団員とキリコを組み立てる学生＝輪島市深見町で

同日昼すぎに各町内を出発したキリコは、路地を練り歩きながら、続々同神社のある高台下の本小本港を目指した。同港近くの町道で宮司のおほらいを受けた後、キリコは順に各町内へ引き返し、勇壮な掛け声が明け方近くまで港町に響き渡った。

金沢大地域連携推進センターの呼び掛けに応じた同大の学生九人が、輪島市深見町の鷺嶽公民館で、近くの櫛原北代比古神社の祭り

キリコ組み立て 金大生が手伝う 輪島、迫力に感激

この取り組みには、過疎化など地域の課題を学生に学んでもらう狙いもある。

名古屋市出身で初めてキリコを見たという理工学域2年の佐藤智也さん(20)は「すごい迫力だった。夜明かりがいたら幻想的だろうと思う」と話していた。(宮畑謙)

平成 23 年 9 月 18 日 北國新聞朝刊 27 面

平成 23 年 9 月 19 日 中日新聞朝刊 13 面

北陸中日新聞ニュース
<きょう>
エフエム石川
午前 7 時 55 分
8 時 55 分
11 時 55 分